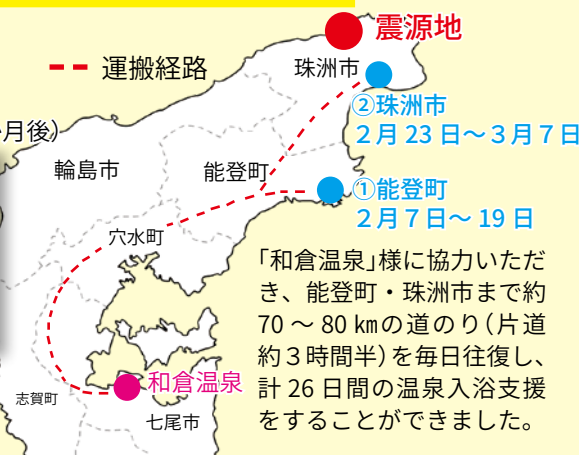


# 能登半島地震「幻想の湯」入浴支援について



▼和倉温泉(地震発生2か月後)



「和倉温泉」様に協力いただき、能登町・珠洲市まで約70～80kmの道のり(片道約3時間半)を毎日往復し、計26日間の温泉入浴支援をすることができました。



別府市入浴支援チーム  
後藤 寛和

—実際に能登半島に行ってみて、現地の様子はどうでしたか。  
家屋などは倒壊したままで、避難所、ビニールハウス、家の倉庫などでの生活を余儀なくされる人が多く、断水状態が続いているという状況を目の当たりにしました。また地元の人によると、コンビニやスーパーが再開していますが、肉や魚などの生鮮食品は少なく、仮設トイレの使用回数を減らしたいという気持ちから水分などを控えてしまい、いわゆる健康二次災害も発生しているとのことでした。

—「幻想の湯」に入った人の反応はどうでしたか。  
皆さんが笑顔になって帰られていました。「ゆっくりできた」、「避難生活を続けていると気持ちが落ち込んでしまうけど、温泉に入るとリフレッシュできる」といった言葉をいただきました。「幻想の湯に来れば皆で会話もできる」とコミュニケーションの場としての役割もあり、皆さんが思い思いに話をされていました。また、「温泉に入っているときは辛さも忘れて幸せな気分になった」と語ってくれる人や涙をぬぐいながら「別府の皆さんへ感謝をお伝えください」と言ってくださる人もいて、微力ながら皆さんの生活の手助けができて良かったと思えました。

—「幻想の湯」の支援活動を行ってみてどうでしたか。  
被災地の皆さんから温泉に入ると「気分が明るくなる」などのお声をいただき、温泉に入るということは少なからず元気を与えることができているのではないかと感じました。また、今回被災されているにもかかわらず地元「和倉温泉」様に快くお湯を提供していただき、「幻想の湯」を最後まで皆さんに利用していただくことができました。そして、被災された地元の皆さんにスタッフとして入っていただくことで地域の人も利用しやすくなり、また、雇用の促進にも繋がりました。スタッフの皆さんからは「一緒に支援活動をしている時間は気分が晴れた」という言葉をいただきました。

この活動を通して、改めて実感したことは別府市にとっても地震は身近に起こりうるものであること、有事の際はお互いに支え合って、力を合わせることが大切だと感じました。

私たちの入浴支援は終わりましたが、被災地の皆さんはまだまだ避難生活が続いており、復興まで時間がかかるかもしれません。能登半島地震の現状を忘れず遠く離れていても一人一人ができる応援の気持ちが現地の皆さんを元気づけると思います。

問 観光課 ☎21-1128

## お誕生日おめでとう! すくすく1さい 4月生まれ <>内は誕生日です

|  |                                |                     |  |  |
|--|--------------------------------|---------------------|--|--|
|  | <td> <td></td> </td>           | <td></td>           |  |  |
|  | <td> <td></td> <td></td> </td> | <td></td> <td></td> |  |  |

### ★1歳の記念にお子さんの写真を掲載しませんか★

応募方法 ①応募フォーム または ②市秘書広報課窓口に写真を持参  
締切 誕生月の前月7日 ※休日の場合は前開庁日【5月号締切 4月5日(金)】  
☎ 市秘書広報課 ☎21-1123

フォームから簡単に  
応募できます♪



応募について  
詳しくは  
◀こちら